

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	大淀川の生物多様性を知ろう 2025
助成事業者	特定非営利活動法人大淀川流域ネットワーク
代表者	代表理事 池辺 美紀

(目的)

私たちの暮らしは、衣食住の全てにおいて様々な生物からの恵みによって成り立っている。その生物多様性が、河川においては過去の河川改修などの人間活動によって損なわれてきたため、国家戦略として、生物多様性を地域のみならず向上させる取組みが各地で実施されている。大淀川下流では、宮崎市内に架かる天満橋の下の湿地において、2016年から環境省と宮崎県の準絶滅危惧植物のタコノアシの保全活動を続けてきた結果、今では11種の絶滅危惧種が確認されて、生物多様性が向上した。

当団体は、河川環境に興味を持つ地域住民が参加する絶滅危惧種の保全活動と河川技術者を対象とした多自然川づくり研修会を別事業で行っているため、本申請活動においては、地域住民を対象として多自然川づくりの基本となる生物多様性の保全についての啓発活動を目的とする。内容としては、秋に天満橋下の湿地において、河川環境に興味を持つ親子を対象に絶滅危惧種の観察会を開催し、冬に宮崎市内の商業施設において、河川環境に関心を持っていない親子を対象に、生物多様性の重要性と多自然川づくりの大切さを知ってもらう、クイズやゲームを楽しむ啓発イベントを開催した。

(概要)

地域住民を対象として、多自然川づくりの基本となる生物多様性の保全についての啓発を目的に、天満橋下の湿地において河川環境に興味を持つ親子を対象に絶滅危惧種の観察会を開催し、宮崎市内の商業施設において河川環境に関心を持っていない親子を対象にクイズやゲームを楽しむ啓発イベントを開催して、生物多様性の重要性と多自然川づくりの大切さを知ってもらった。

内容は、これまでに天満橋下の湿地で撮影した11種の絶滅危惧種の写真にイラストや説明を加えて見やすいデザインに工夫して、絶滅危惧種と類似の生物との区別が子どもにできるように分かり易く編集した小図鑑200部を秋までに発行して、12月に河川環境に興味を持つ親子を対象に、天満橋下の湿地の中に当団体が維持している探索路を使って絶滅危惧種と湿地内の水辺の観察会を開催し、1月に河川環境に興味を持っていない一般住民を対象に、宮崎市内の商業施設において大淀川の生物に関する問題をクイズ形式で出題してゲームを楽しみながら解いてもらう啓発イベントを開催した。観察会と啓発イベントにおいて説明資料として参加者に小図鑑を配布した。

■小図鑑の作成 200部

■観察会の開催 開催日：令和7年12月6日(土)

■啓発イベントの開催 開催日：令和8年1月24日(土)